

第4回義務教育学校開校検討委員会資料

町指定文化財「美幌小学校のかしわ」



美幌町指定文化財

美幌小学校の
かしわ



ベニバナヤマシャク
ヤク自生地



絵模様付礫



瑞治地区足柄奴



美幌町文化財保護条例 (H9.3.21)

第3条 文化財の所有者その他の関係者及び町民は、文化財が貴重な町民の財産であることを自覚し、その保存に努めるとともに文化的活用に協力しなければならない。

文化財指定に至る経緯



市街地において、最大最古の樹木である。

美幌町で一番最初に開校した（現）美幌小学校敷地内の「かしわの木」として、数多くの町民・児童を見守り、送り出すなど、人々の暮らしと深く関わり合い、多くの町民に知られ、美幌町のシンボリック存在

樹高：13～15m 幹周：1.8～3.5m
樹齢：約250年以内



平成11年10月12日美幌町文化財指定

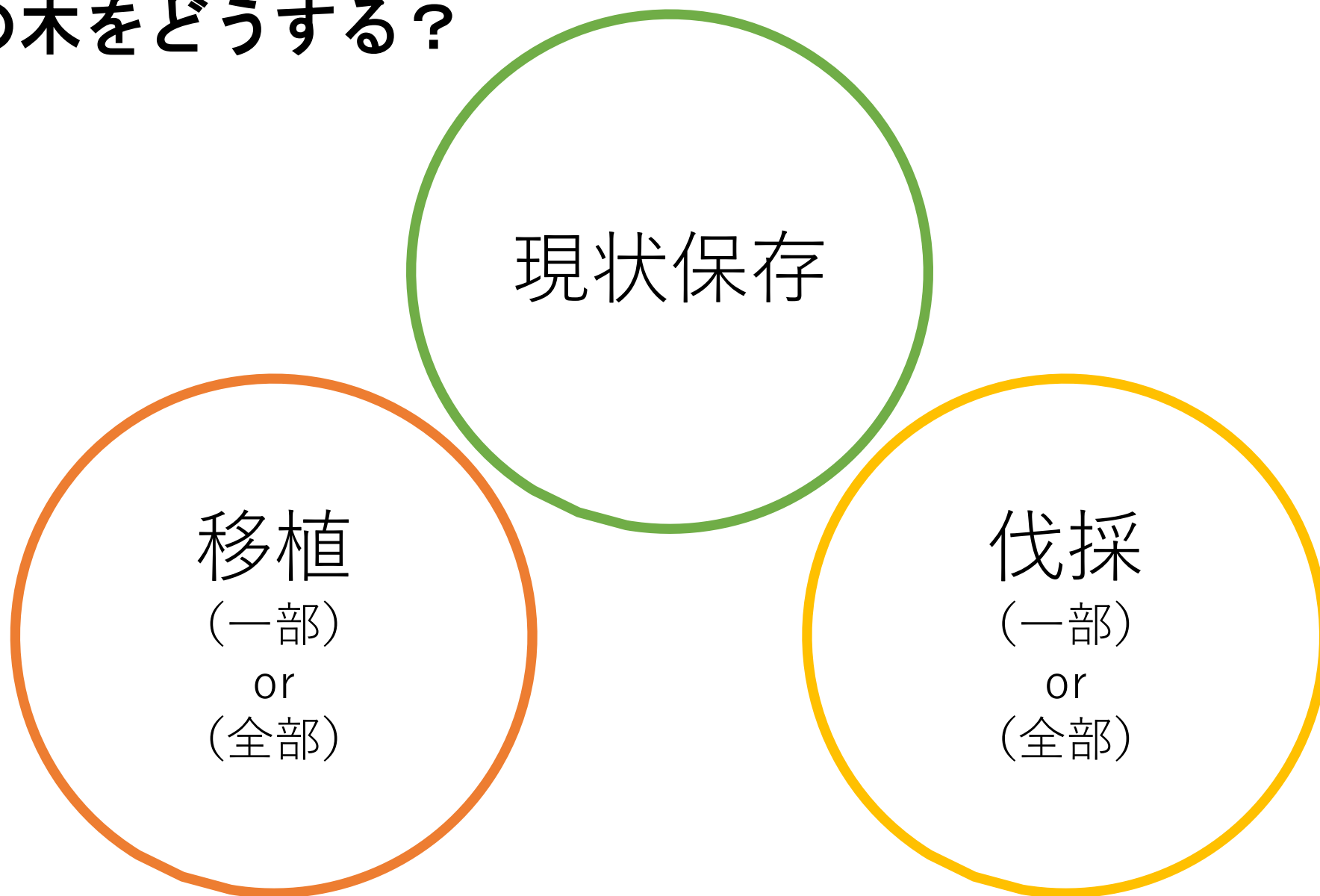
文化財指定後の対応

必要に応じた病変部の治療・土壌改良作業
(これまで実施した保全作業費：11,611千円)

啓蒙普及

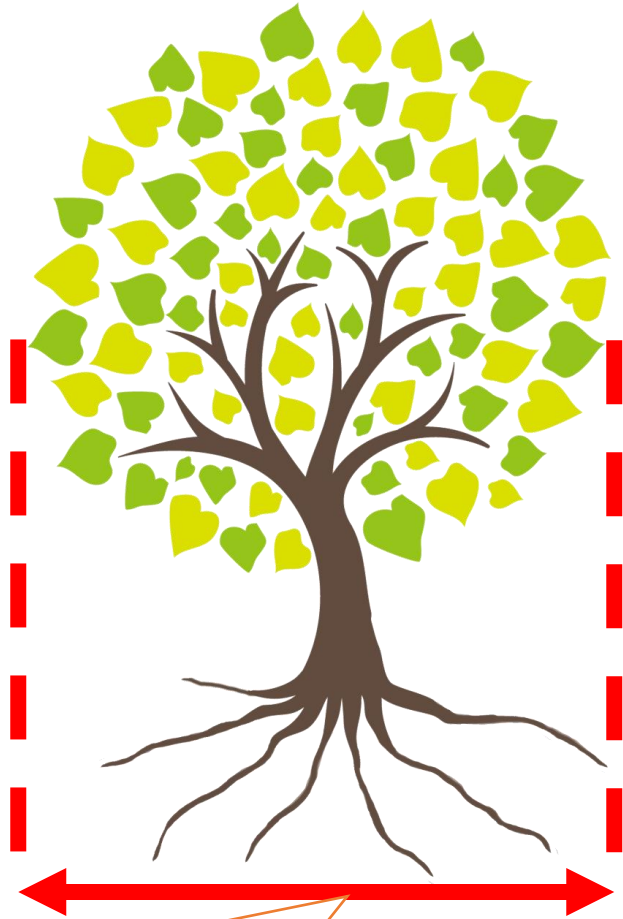


かしわの木をどうする？



移植について

①事前準備（調査）



根が広がっている範囲→攪乱してはならない

移植に適切な場所はある？

→移植予定地の土壌改善も必要

移植費用は大丈夫？

移植作業に支障となる物・事は？

→作業は広範囲、危険もあり

移植に耐えられる木か

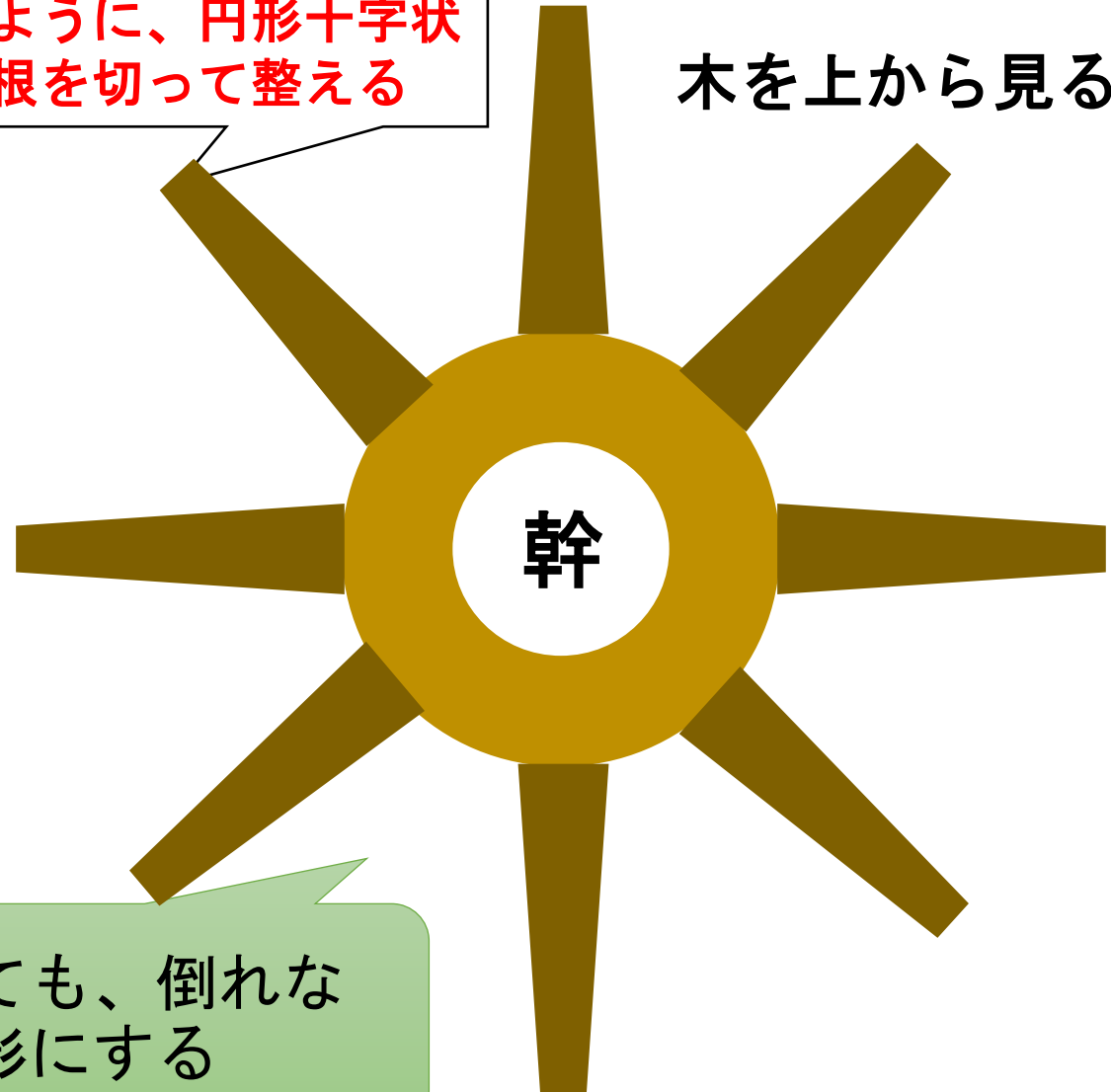
→幹の中は腐っていない？・・・

②事前処理



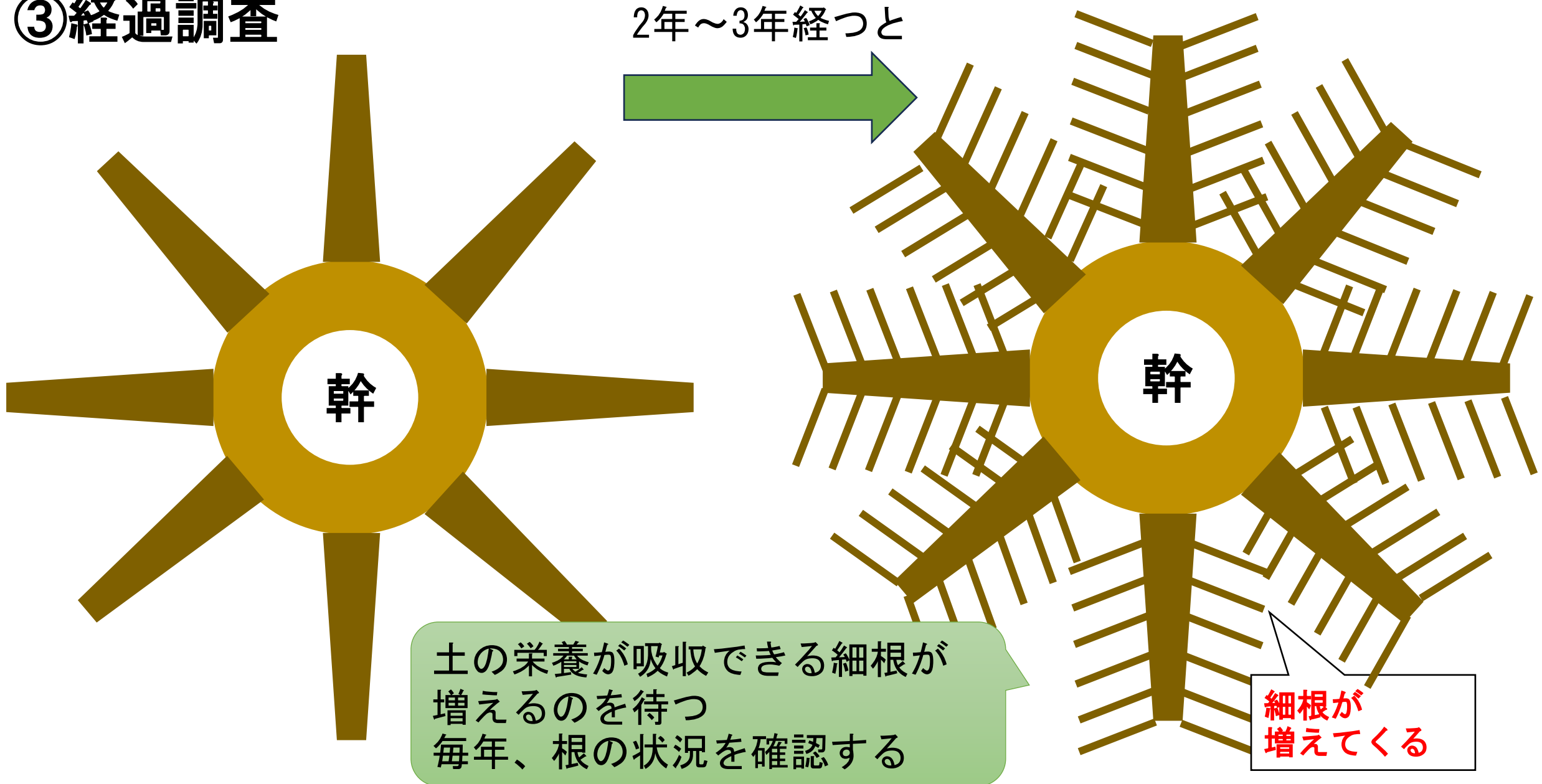
移植する木が直立・倒れないように、円形十字状に太根を切って整える

木を上から見る

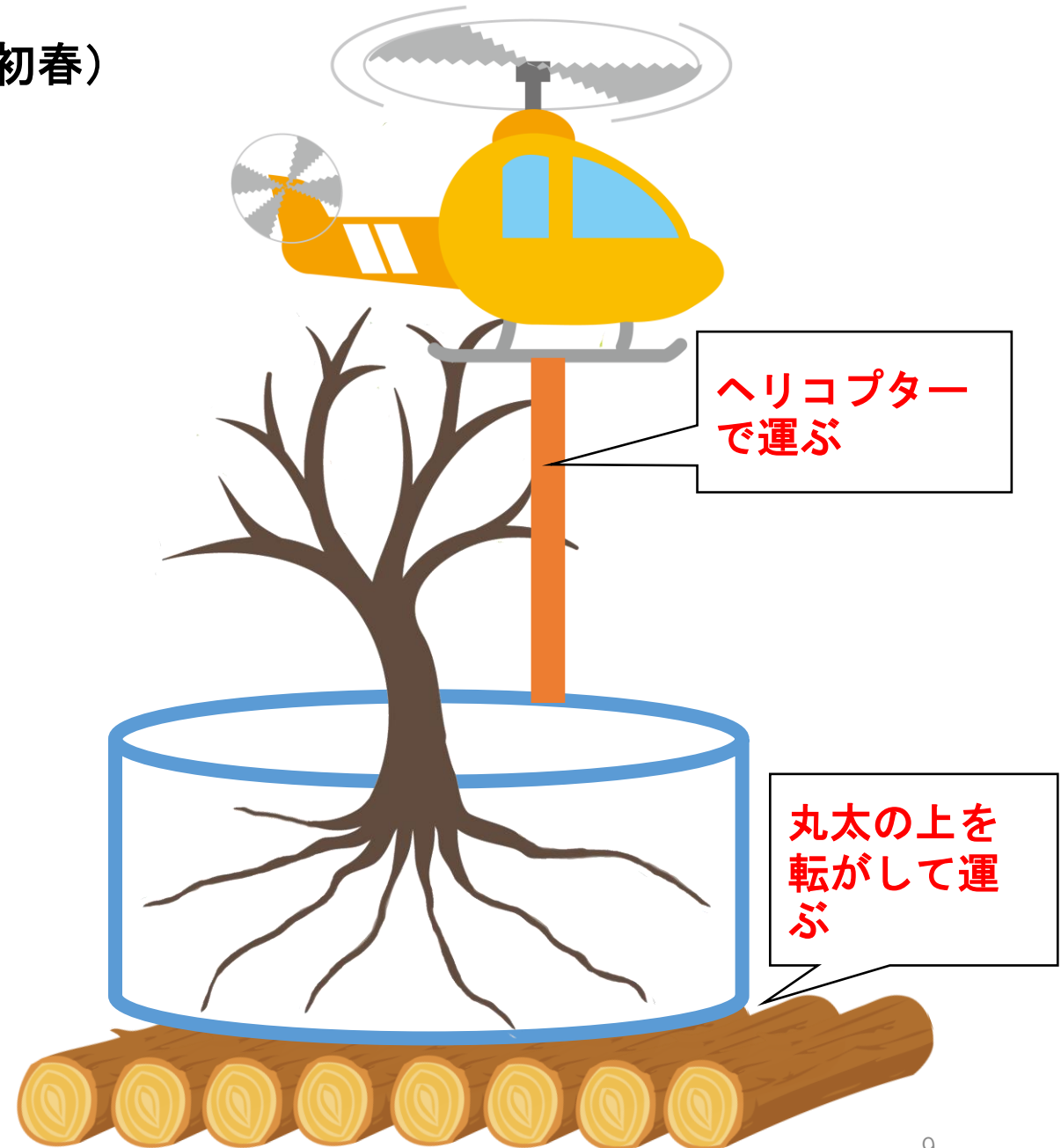
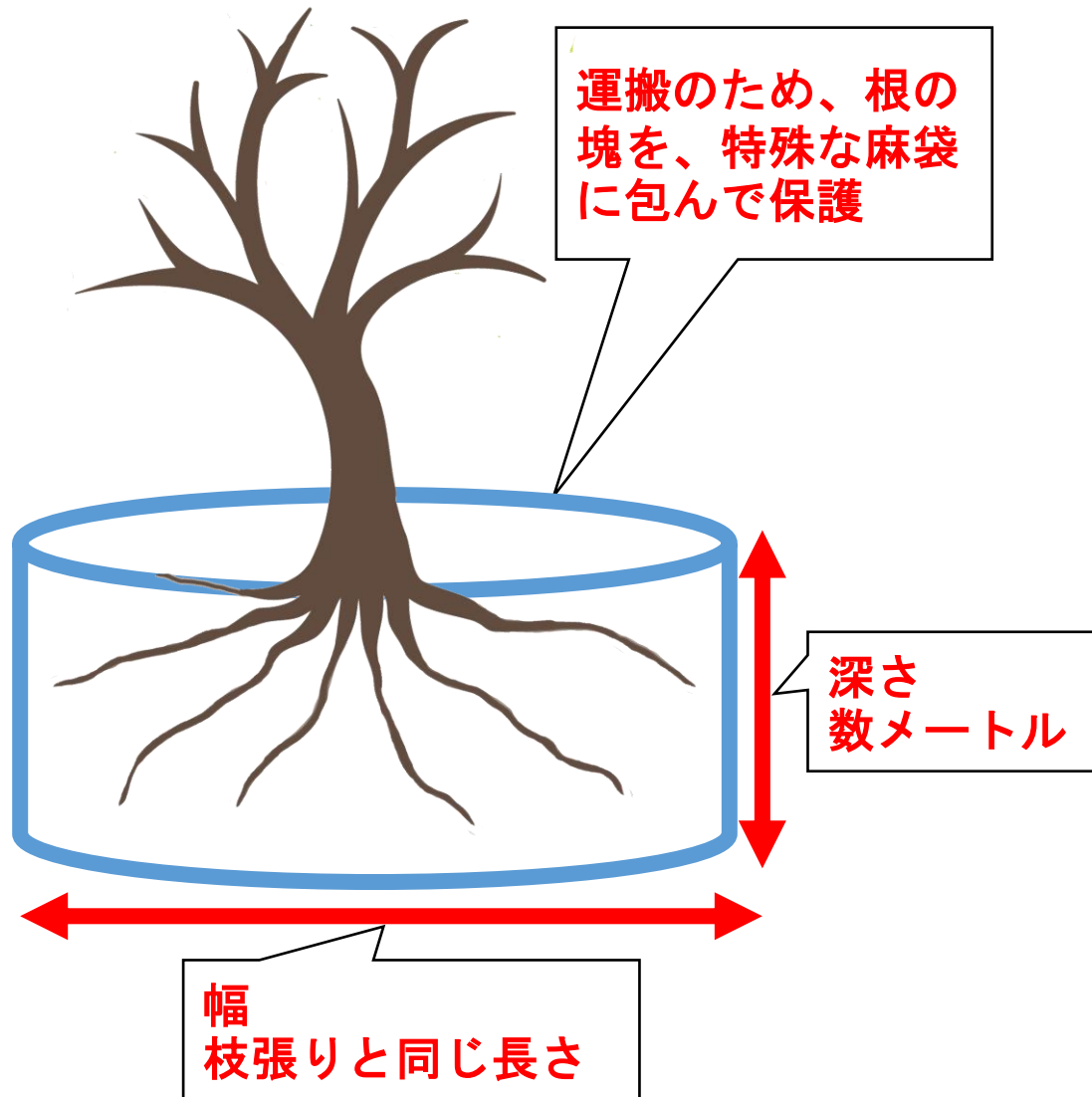


移植しても、倒れない木の形にする

③経過調査



④移植（木の活動が止まっている時期～晩秋、初春）



木の移植

移植の方法は、ある程度、確立されている

経験ある専門家（樹木医）でないと、作業は難しい。（道内では経験者はいない）

作業には、膨大な費用が伴う⇒1本当たり数百万～数千万

事前準備～移植まで3～4年の年数がかかる

移植するには、解決しなければならぬ